

豊浜の子 明るく 正しく 強く

学校教育目標

挑戦し 高め合う子
一歩前へ ナイストライ

振り返り

令和元年 11月1日(金) 11月 朝会 校長の話

皆さんは、「みんなで勉強して楽しかったこと」があると思います。今日は2年生の人に、みんなで勉強して楽しかったことを発表してもらいます。では3人の人に発表をお願いします。素晴らしいですね。みんなで大きな拍手をお願いします。



11月の目標は「関わり合って学習に取り組もう。」です。

学校の勉強は一人ではなく、みんなで一緒にするものです。今、2年生の人が発表してくれたように、学校の勉強は、みんなでするから楽しいし、考えを深めることができるのですね。



11月の目標にある「関わりあって学習に取り組む」ために、皆さんに3つのお願いがあります。

① 授業のめあては自分たちで作りましょう。

授業のめあてを自分たちでつくってください。授業の時、先生が必ず青のチョークで囲ってくれるのが「めあて」です。では、いつつくればいいですか。次の授業のめあては、授業の終わりにみんなでつくるのです。難しいと思うかもしれませんが、でも大丈夫。授業のまとめをきちんとすると、不思議と次の学習のめあてが、みんなの中から出てくるのです。皆さんの授業は、皆さんが自分たちで作らなくてははいけません。11月は、先生たちもそう考えて授業をします。

② 授業の主演は皆さんです。先生はたくさんしゃべりません。

授業は皆さんの学びの場。つまり主演は皆さんなのです。皆さんが意見をどんどん出して授業を創っていけるように、先生たちには、できるだけしゃべらないようお願いしています。皆さんが自分の意見をどんどん発表することで、たくさんの考えが出され、それをもとに話し合い、深め合う授業につながります。そんな授業では、先生はあまりしゃべる必要がありません。そんな授業がこれからの学校では求められているのです。



③ 大きな声で発表しましょう。

豊浜小に来てくださったお客様が、こんなことを話しました。「豊浜小の子ども達はいろいろなことにがんばっていて素晴らしいですね。でも発表する時の声が大きいと、授業がもっと素晴らしくなりますよ。」と話してくれました。自分の意見を自信をもって大きな声で発表できることは、大人になってからも大切なことです。大きな声で自信をもって発表してください。先生たちには、発表の音が小さかった人には、もう一度言い直してもらおうようお願いしました。



11月の目標は「関わり合って学習に取り組もう。」そのために、①授業のめあては自分たちで作りましょう。 ②授業の主演は皆さんです。先生はたくさんしゃべりません。 ③大きな声で発表しましょう。 この3つができれば、11月の目標は必ず達成できます。また授業を見に行きますので、皆さんが関わり合って学んでいる姿を見せてくださいね。とても楽しみです。

ナイストライ!

磐田地区小学校陸上競技大会

10月2日(水) 磐田市かぶと塚公園陸上競技場を会場に磐田地区小学校陸上競技大会が開催され、豊浜小学校6年生が参加をしました。陸上大会は水泳大会と違い磐田市内の小学校22校の6年生全員が集う大会です。その中で豊浜っ子は大健闘しました。

以下は10位以内入賞者です。

【個人種目】

男子ボール投げ	第2位	朝倉 陽さん
女子200m	第8位	佐藤 彩莉さん
女子ボール投げ	第3位	藤田 樹里さん
女子走り幅跳び	第9位	伊藤 優月さん



ラグビーワールドカップ観戦&オーストラリア代表選手との交流

6年生が10月9日(水) エコパで行われたロシア VS スコットランドの試合を観戦しました。ワールドカップが日本、しかも隣接の袋井市エコパで開催されることは一生に一度あるかないかの経験です。子どもたちは精一杯選手たちを応援していました。



5年生は10月10日(木) 掛川花鳥園で行われたオーストラリア代表選手との交流イベントに、急な要請にも関わらず全員が参加をして選手との交流を深めました。



両日とも保護者の皆様にはお迎えの協力をしていただき、ありがとうございました。

来年度から新しい学習指導要領がスタートします

グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代。子供たちには自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力が求められます。学校での学びを通じ、子供たちがそのような「生きる力」を育むために、学習指導要領が約10年ぶりに改訂され、2020年度より小学校から順に実施されます。小学校中学年から「外国語教育」を導入、小学校における「プログラミング教育」を必修化するなど社会の変化を見据えた新たな学びへと進化します。(特別な教科道徳と特別活動は本年度より先行実施)

11月朝会の校長の話にもあるように授業が変わります。新しい学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を重要視しています。

子供たちが能動的(アクティブ)に学び続ける「アクティブ・ラーニング」の視点から、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視して、学校の授業を改善していきます。子供たちが学んだ一つ一つの知識がつながり、「わかった」「おもしろい」と思える授業、周りの人たちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業などを工夫して、子供たちの資質・能力を育てていきます。

